

第2回香川県次期総合計画策定懇談会 委員意見

	意見
1	○「6 諸団体との意見交換会」の概要について、香川県連合自治会との意見交換会（令和3年2月18日開催）として、みどり保全に関するもの、更には自治会加入向上問題や高松における都市交通について要望があったことを追加してほしい。
2	○施策3「危機管理体制の強化」のうち、「2 防災関係機関等との連携の強化」における「地域における防災体制を強化するため、市町や関係団体と連携し」との記述について、「関係団体」を、「地区内の民間事業者」とし、「連携する」の前に、「密接に」を追記できないか。
3	○地域の福祉ニーズを的確に把握し、公的サービスの狭間にある人を支援するため、地域コミュニティ組織の活動が重要であるが、個人情報保護と言われ十分な情報交換や支援活動が出来ないのが現状であり、市町へ指導をお願いしたい。
4	○社会人の再教育を介した「新しい流れをつくる香川」に関して、「新しい流れをつくる香川」の戦略の一つとして、学び直しに強い意欲を持ち、地方で起業を希望する社会人を都会から誘導することが期待できるのではないかと思う（特にポストコロナ時代を想定）。香川大学に新設する大学院新研究科（創発科学研究科）では、社会人の学び直しに対応した授業科目を充実させており、アントレプレナーシップに関する授業科目も充実させている。また、地域の課題解決をテーマとした文理融合型の研究指導を経験していただける仕組みを予定している。大学院以外にも社会人向けの様々な講座で、リカレント教育用の幅広いプログラムを用意する予定である。他方で、スキルアップやライフプランの再構築を目指す社会人を行政や企業が支援する仕組みの整備が我が国では残念ながら総じて遅れている。社会人の学び直しに対する支援の手厚い地域ほど大都市から人々を招き入れる吸引力となると思われるので、香川県は社会人の学び直し先進県となるべきではないか考える。
5	○社会貢献寿命を延伸させる高齢者の支援に関して、高齢者については、「安全と安心を築く香川」に健康寿命の推進の記載があるものの、「誰もが輝く香川」では現在のところ記載がない。人生百年時代を迎え、高齢者の方々に健康に生活していただくばかりでなく、培った経験や知識を生かして出来るだけ長く社会に貢献していただくことが香川県の活力を維持する上で重要な政策と思う。上記4の学び直しとも関連するが、高齢者の社会貢献の機会を拡充する施策を検討いただき、社会貢献寿命を延伸させる高齢者支援を推進する香川県であっていただきたいと思う。
6	○（1）「安全と安心」（3）「誰もが輝く」は、目指すものがイメージしやすいが、（2）の「新しい流れをつくる」が抽象的過ぎて分かりにくいと感じた。文中に出てくる「選ばれる」の方が分かりやすいのではと思う。
7	○重点施策1「災害に強い香川をつくる」のうち、新型コロナウイルスの影響を踏まえた課題の中で、「避難所における感染症対策に努める必要があります」という表記になっている。明日起きるかもしれない状況の中、三密対策について、具体的な対策を明記しておいてほしい。
8	○子育て支援、定住人口拡大への一層の施策充実をお願いしたい。定住人口拡大のためには、若者に選んでもらうことが大切。コロナでリモートワークが増えていることは地方にとってもチャンスである。他の自治体も、若者移住へ同じような施策を展開している。香川の特徴、メリットとともに、子育て世代が移住したいと思える支援など、現在県もネットでPRしているのは承知しているが、さらにアピールを進めてほしい。
9	○子育てにおいて、教育は本当に大切であるため、教員を目指す人が減っているのは心配。UJIターンの促進のほか、業務内容の多さが指摘されているので、そのデメリットがなくなるような取り組み

	をお願いしたい。
10	○県民へのPR、理解を深めてもらうためには、「女性」「若者」といったターゲットごとの施策を網羅する冊子の作製やHP上でのコーナーを設ければ、女性や若者に直接分かりやすく訴えかけられるのではないかと思う。
11	○施策8「子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備」のうち、「ネット・ゲーム依存対策の推進」について、すでに学校では、期間中1日は「ノーメディアデー」を自分で決めてチャレンジしているという取り組みがあると聞いた。学校からではなく、乳幼児期の保育所でも取り組み、家庭で子どもとメディアとの関わりを考えてもらう取り組みが必要と考える。
12	○重点施策2「「子育て県かがわ」の実現をめざす」のうち、コロナによる課題について、マスクによる長期生活の中で保育者とマスク越しに接することで表情が読み取れないため、コミュニケーションに関する心配もあるのではないか。その点について触れなくてよいか（フランスはその懸念から保育士は透明マスクになっている）。
13	○重点施策2「「子育て県かがわ」の実現をめざす」のうち、下から三つ目の◇の箇所について、「子どもが安心・快適に遊べる環境整備」を「安心・快適に遊び・学べる環境整備」としてはどうか（感染症が学校等に拡がって親が就労できなくなるケースの相談がある。子どもの学校が休みになった際の保育の場の確保が重要である。）。
14	○重点施策16「豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる」のうち、上から二つ目の◇の箇所について、家庭での教育に悩みや不安を持つ保護者が増えていることから社会全体で子どもを育てる、ということには賛成だが、もう一つの視点として、不安を持つ保護者を支援する、という切り口は必要ないか。不安を持つ保護者のもとで養育されると子どもにも影響があるため、子どものためにも保護者の心の安定が必要であり、その点に関する記載を盛り込んでほしい。
15	○重点施策16「豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる」のうち、コロナによる課題について、運動会や修学旅行等の集団での体験経験値の不足が今後与える影響も心配である。
16	○重点施策16「豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる」のうち、「4 グローバルな視点を持ち郷土を支える人材の育成」の箇所について、ふるさと香川の魅力を十分伝え、誇れるふるさとを持つことで自分自身に自信が持てるようになってほしい。郷土を知ることには力を入れることが郷土を支える人材の育成につながると思う。「郷土を知る」「郷土に触れる」というような文言は入れられないか。
17	○重点施策16「豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる」のうち、県民等とともに推進する取り組みの箇所の「企業」の項について、「県立高校における～」と書かれているが、企業側が読んだ時に自分たちが何をしたらいいのかももう少し具体的に書かないとイメージしづらいのではないか。
18	○重点施策17「女性が輝く香川にする」について、女性の社会活躍のためには男性の家庭活躍が表裏一体である。もう少し男性の役割を明確にしてはどうか。 ○県民等とともに推進する取り組みでは、あらゆる分野の活動における意思決定過程への、女性自身による積極的な参画といっても、女性自身が積極的に参画したくてもできない壁がある。県民への約束としては、女性が積極的に参画するための後押しを男性とともに支援するという書きぶりがあるように思う。
19	○施策7「子ども・子育て支援の充実」のうち、利用者支援事業や地域子育て支援拠点事業など、在宅の子育て家庭を含む、とあるが、今や利用者支援事業も地域子育て支援事業も「働く母」の利用が増えている（育休中を含めると大半を占める）。利用者支援・地域子育て支援拠点が在宅子育てに特化しているように見えないような記載をしていただきたい。

	<p>○全国的には就労中でも利用できるよう利用者支援・地域子育て支援拠点の土日開館が増えている（全国の1/3の拠点は土もしくは日に開館している）。香川県内は、まだまだ土日閉館が多い。それは在宅家庭のみをイメージして事業運営しており、事業費が平日パターンでしかもらっていないところが多いからではないかと思われる。予算確保と自治体からの指導等で、土日のいずれかを開館するようなことも県として働きかけができるかと思う。</p>
20	<p>○施策7「子ども・子育て支援の充実」のうち、子育て支援にICT活用とあるが、今回のコロナでインターネットを活用した子育て支援は一気に加速化したと思う。もう少し具体的に踏み込んだ形で、インターネット会議システムの利用や、SNS活用などで子育て支援拠点に来ることができない人や遠方の方も含めた子育て支援などと記載できないか。取り組んでいる事業者と全く取り組んでいない事業者の開きが大きいのが現状だが、「ICT」と書いてしまうと大がかりなシステムを想像して自分たちには関係ないと思われるかもしれない。</p>
21	<p>○施策7「子ども・子育て支援の充実」のうち、「3 困難な環境にある子どもや家庭への支援」について、障害のある子どもだけでなく長期療養を余儀なくされている子ども及びその家庭や、医療的ケアの必要な子どもの記載ができないか。</p>
22	<p>○ビジョン編の重点施策とプラン編の施策体系の順番は、対応していると理解している。その場合、「新しい流れをつくる香川」の重点施策14「デジタル社会を推進する」と15「四国における拠点性を確立する」に対応するプラン編の施策体系16「交通ネットワークの整備」、17「デジタル化の推進」の順番が逆ではないか。16「デジタル化の推進」、17「交通ネットワークの整備」となるのではないか。</p>
23	<p>○施策体系6「人権尊重社会の実現」あるいは、19「男女共同参画社会の実現」のあたりに、多様性を重視した文言を加筆してもよいのではないか。</p>
24	<p>○前回の指標に比べて、項目数だけではなく、内容も大きく変更されている。特に大きく変更した指標について、変更理由等を説明しても良いように思う。</p>
25	<p>○県民への意見照会の際は、若者（高校生、大学生等）の意見もぜひ反映していただきたい。</p>
26	<p>○政府の骨太の方針2021に4件の重点項目（グリーン・デジタル・地方活性化・子育て支援）がある。香川県次期総合計画素案について、今回からデジタル化に関しては重点施策として取り上げられている。グリーンに関しては、施策70には取り上げられているが、取組レベルが弱いと感じる。今後の5か年計画であれば、重点施策としてグリーン化推進の表現が必要であると考え。また、香川県も2021年2月議会にて「脱炭素社会の実現を目指す」と宣言されている。</p>
27	<p>○重点施策の概念図については、①～②があり、また下に①～⑥があるので、ややこしい。</p>
28	<p>○重点施策2「子育て県かがわの実現をめざす」のうち、「3 子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備」について、◇「子どもの心身の発達に悪影響を～」の箇所どこかに、保護者と子どもとのよりよい関係づくりへの支援（サポート）のような文言は入れられないか。「子育て支援」といえば、乳幼児の保護者の支援になりがちですが、小・中・高になっても、子育て（特に近年ではネット・スマホとの関わり）で悩んでいる保護者は多くいる。その人たちへの支援・サポートについてどこかに明記できればと考える。</p>
29	<p>○重点施策7「交通事故・犯罪のない安全安心な香川をつくる」のうち、県民等とともに推進する取組みの〔学校〕の箇所について、街頭での見守り活動や交通安全教育などの交通安全活動とあるが、〔学校〕というよりは地域の活動ではないか。地域も学校に含まれるのか。</p>
30	<p>○重点施策14「デジタル社会を推進する」のうち、県民等とともに推進する取組みについて、〔学校〕ICT教育の充実のような記載が、この箇所にもあればいいのではないかと思う。デジタル社会を</p>

	推進するに当たっては、子どもの頃からの正しい知識等の教育は必要と考える。
31	○重点施策16「豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる」のうち、「3 教員の資質・能力向上」について、高校生を対象にした説明会の実施などに取り組むとある。これは、高校生に教職員を目指してもらおうということだと思うが、説明会を受けることより、身近にいる教職員の皆さんを見て、どんな職業なのかを判断するのではないかと思うので、高校生への説明会はあまり意味がないのではないか。
32	○地域の支え合いは、福祉に限らず、高齢者から子どもまで社会生活全般に係るものであり、地域防災も含めて重要であり、地域コミュニティの活性化に向けた対策の充実を求める。
33	○施策 30「若者の定住促進」、38「安定した雇用の創出と就労支援」について、学生対象の各種事業の展開も重要だが、一方で親の意識の醸成も重要である。特に県外学生の地元での就職の際に、県内企業の魅力を親にも発信するなどの対策も必要と考える。また、コロナ禍での雇用の維持のための在籍出向型支援は重要な取組みであり、その活用を広げる官民連携含めた対策が必要である。
34	○施策 39「働き方改革の推進」について、働き方改革は使用者と労働者の双方が知恵を出し合い、ともに実践していく土壌が重要である。そのための意識形成を図るセミナー等が必要である。また、周知だけでなく、どう改善されているかなどの検証も必要であり、その検証結果から次のステップにつなげる枠組みが重要である。
35	○施策 54「広域交通ネットワークの充実・強化」について、航空ネットワークの充実・強化では、昨今、香川に一番多く流入するのはベトナム人であることを考えた際に、高松とベトナムを結ぶ定期便は新規路線の対象と考える。
36	○施策 55「地域交通ネットワークの整備」について、地域公共交通の確保・維持は記載のとおり、厳しい経営環境にあり、その対策は急務でもあり、人口減少の中、地域の発展には欠かせない対策である。そこに働く労働者の労働条件の確保（賃金等）を併せた対策が重要である。
37	○施策 57「生産性の向上のための産業のデジタル化の加速」について、特に、県内の中小企業のデジタル化には財政的障害の要因もあり、その解消のための財政的支援が必要である。
38	○施策 58「行政のデジタル化の推進」について、マイナンバーカードの普及について、海外での個人情報流出などその危険性の徹底した排除が求められる。マイナンバーカードでなくてもマイナンバーの活用によって多くの行政サービスの向上にもつなげる点をさらに追求すべきと考える。
39	○施策 58「行政のデジタル化の推進」について、記載にもあるが「誰一人取り残さない社会」SDGs の精神に則り、特にデジタル化推進のなかで高齢者等の対策は必要である。
40	○施策 59「学校教育の充実」について、「5 元気で安心できる学校づくり」のなかで、教員の業務は多岐多岐にわたり、一人一人の子どもに目配りできる余裕がないのが現状であり、教員の働き方改革（業務の見直し）が重要である。見直しの際には現場の教員の声をしっかり聴くことが必要である。また、将来の社会人育成も含めた、子ども期からの主権者教育の必要性も言われており、その記載も必要と考える。合わせていえば、働くことの意味を考える労働者教育も重要である。
41	○施策 83「競技力の向上」について、「2 トップアスリート育成」では、障害者スポーツ選手の支援があるが、「指標」には134「オリンピック大会出場選手数」しかない。パラリンピックの出場の選手数の指標記載も付加すべきと考える。
42	○市町との連携について、県の計画が県下全体で広がるよう、各市町との連携は必須であり、各自治体との役割分担を含めた協議は無駄ない、内容ある行政運営に資すると考える。
43	○県職員の人員体制について、現下のコロナ対策、さらには先の鳥インフル対策などで、県職員だけの対応では無理があり、各自治体職員の協力を得てきたが、今後の大規模自然災害等の対応を考えると現行の人員体制での機動的・応援体制では限界があると思う。今後の人員体制をしっかりと検討いただきたい。
44	○県警の飲酒運転根絶 BOX の運用について、2021年6月より県警が実施したメールによる飲酒運転に

	<p>関する飲酒運転根絶に向けたアイデアの受付はまったく問題ないが（取り扱いが不明だが）、情報提供について、以下の懸念がある。</p> <p>ある報道では、メールでの「通報は自由記述で匿名も可」とある。県警のホームページでは、情報（必須）の他、名前・年齢・住所・電話番号を添付とある。また、内容の詳細を確認のため、問い合わせを行う場合もあるので、名前・電話番号等を記載とある。</p> <p>報道の記載と県警のホームページ上の記載が異なる点がまず不明。また、匿名ということが事実であれば、善意でなく悪意による通報または愉快犯的通報が横行する可能性もあり、県警の対応が通報された者に無駄かつ有害なものとなる懸念もある。それ故、匿名による受付はすべきでないと考ええる。</p>
45	○香川県は気候も温暖で災害も少ないので、住みやすいと思う。もう少しアピールをして、交流人口より定住人口が増えたらいいと考える。このことをもう少し強く、施策の中に入れてほしい。
46	○農山村部では少子高齢化が進み、生産人口が減り、後継者がいないことに困っている。耕作放棄地が増えている。このことをもう少し強く、施策の中に入れてほしい。
47	○核家族化で高齢世帯が多く、免許証の返納により、交通手段がなく、病院や買い物に困っている。このことをもう少し強く、施策の中に入れてほしい。
48	○施策 19「人権啓発の推進」のうち、「2 企業における啓発活動の支援」については、「公正な選考採用の確保や差別事件の防止・根絶を図るため」とあるところ、それらも重要な目的だが、そのほか、セクハラに始まり、近年はパワハラ、マタハラなど、各種ハラスメントの問題が重大化し、法律改正と厚生労働省告示が出されていることに鑑みれば、「セクハラ、パワハラ、マタハラ等各種ハラスメントを防止するため」という目的も盛り込むことが望ましいと考える。そこで、「公正な選考採用の確保や差別事件の防止・根絶を図るとともに、セクハラ、パワハラ、マタハラ等各種ハラスメントを防止するため」としてはどうか。